

第四次計画と第五次計画の比較【基本目標 1 家庭・地域・学校等における子どもの読書活動の推進】

第四次苦小牧市子どもの読書活動推進計画	社会教育委員評価と道の計画	第五次苦小牧市子どもの読書活動推進計画
<p>【基本目標 1】 推進方策 1 家庭における子どもの読書活動の推進 1 家庭における子どもの読書活動「家読(うちどく)」への支援 家庭教育相談における家庭での読書の大切さに対する保護者への理解の促進 赤ちゃん教室、なかよし教室での読み聞かせや本の紹介 幼稚園・保育園等での家庭への本の貸出し 子育てルームでの読み聞かせや絵本などの紹介 「うちどく！」パンフレットの配布による保護者への理解の促進 「生活リズムチェックシート(読書習慣編)」等の活用 「苦小牧子どものための選定図書」の紹介及びPR 2 ブックスタート事業の促進 「赤ちゃん、絵本のとびら事業」の実施 「赤ちゃんと楽しむ絵本ひろば」の実施 「お母さんと赤ちゃんのための絵本ガイド」の配布</p> <p>推進方策 2 地域における子どもの読書活動の推進 1 市立図書館における子どもの読書活動の推進 「青空子どもとしゃかん」等の子どもを対象とした読み聞かせ事業の実施 子ども同士で本を紹介し合う「ヒブリオバトル」等の読書への関心を高める体験型の事業の実施 児童文学等に関する図書館文化セミナーの開催 ボランティアによる読み聞かせ等の実施 お話コーナーの活用 図書館を使った調べる学習コンクールの開催 読書感想文、読書感想画コンクールの開催と読書感想文集の発行</p> <p>2 児童センターにおける子どもの読書活動の推進 児童図書室の有効活用 中央図書館からの団体貸出しや「ぐるりさん」の活用 職員や地域のボランティアによる普段の活動や「とまペビータム」などのイベントでの読み聞かせ</p> <p>3 民間団体の活動に対する支援 読み聞かせ等に関わる活動団体への資料や情報提供 ボランティア活動グループへの活動の機会や場の提供 読み聞かせ活動や選書等に関する相談、助言</p> <p>4 子どもの読書活動に関する地域住民や保護者への普及・啓発 新着図書の情報発信や推薦図書の普及 「子ども読書の日」、「子ども読書週間」等における普及事業の実施 時季に応じた各種資料の展示 子育てサークルや幼稚園、保育園児の受け入れの促進と読み聞かせ体験 図書館情報誌の発行やホームページを利用した情報発信 「子育て応援とまっこメール」を利用した情報発信 施設見学及び職場体験等の受入 図書館探検ツアーの実施</p>	<p>1 家庭における子どもの読書活動「家読」への支援(社) ・「うちどく」は前計画から進展がなかった。更なる取組の強化を ・乳幼児期の読み聞かせは様々な教育的効果が高いことを保護者にしっかり伝えていきたい ・チェックシート活用は今後期待できるのか疑問 取組継続の中で検討</p> <p>2 家庭における子どもの読書活動「家読」への支援(社) ・「赤ちゃん、絵本のとびら事業」は引換率 100%に迫れるような新たな工夫が必要</p> <p>推進方策 1-1 家庭における読書活動の推進<道> コロナ禍においては、図書館の利用が制限されたり、外出を控えたりするなど、家庭における読書の在り方は、一段と重要になりました。このため、保護者が読み聞かせをしたり、子どもと一緒に本を読んだりするなど、家庭での読書活動を通して家族のコミュニケーションを図る「家読(うちどく)」に取り組むことにより、子どもが読書に親しむきっかけをつくるとともに、読書に対する興味や関心を広げられるよう、子どもの読書活動を見守り、応援することが望まれます。 市町村においては、ブックスタートなどの乳幼児期から親子で読書に親しむ習慣づくりに取り組むとともに、子どもの読書活動の意義と重要性について、広く地域住民や保護者へ啓発することが求められており、図書館においては、他の関係機関やボランティア等と連携協力しながら、保護者や家族で読書に親しむことができるような機会や場所といった環境を整備することが期待されます。</p> <p>1 市立図書館等における子どもの読書活動の推進(社) ・ボランティアの協力は不可欠。今後の関りに期待 ・児童の利用減と自己評価が乖離 基本目標 2 推進方策 3-4 に記</p> <p>2 児童センターにおける子どもの読書活動の推進(社) ・中央図書館と児童センターが連携し、読書環境の整備は確実に進んでいる。 ・どの項目も評価が高く、十分評価できる。</p> <p>3 民間団体の活動に対する支援(社) ・中央図書館と民間団体が連携し、読書環境の整備は確実に進んでいる。</p> <p>4 子どもの読書活動に関する地域住民や保護者への普及・啓発(社) ・効果的な取組も数多く見られ、安定した成果を生んでいる。 ・子どもの読書活動に関する地域住民や保護者への普及・啓発が十分行われている。</p> <p>推進方策 1-2 地域における読書活動の推進<道> 市町村立図書館は、地域における子どもの読書活動推進の中心的な役割を担っています。そうした中で、子どもの主体性や意思を尊重し、子どもの気持ちに寄り添った取組を行うことが重要なことから、これまで取り組んできた図書館サービスの充実を図るとともに、子どもの視点に立ったサービスの改善を目指し、関係機関やボランティア等と連携・協力しながら、子どもが読書に親しむことができるような機会や場所といった環境を整備することが必要です。また、子どもから大人までの地域住民が交流できるまちづくりの拠点として地域の実態に応じた活用場の創出が望まれます。さらには、学校における調べ学習や探究活動に対して図書館職員が支援を行うなど、学校や学校図書館との連携を更に進めていくことが期待されています。</p>	<p>【基本目標 1】 推進方策 1 家庭における子どもの読書活動の推進 1 家庭における子どもの読書活動「家読(うちどく)」への支援 家庭教育相談における家庭での読書の大切さに対する保護者への理解の促進 赤ちゃん教室、なかよし教室での読み聞かせや本の紹介 幼稚園・保育園等での家庭への本の貸出し 子育てルームでの読み聞かせや絵本などの紹介 「うちどく！」パンフレットのリニューアル及び配布による保護者への理解の促進 家庭教育情報紙「ほーむ&すくーる」を使った親子読書等の周知 「苦小牧子どものための選定図書」の紹介及びPR 2 ブックスタート事業の促進 「赤ちゃん、絵本のとびら事業」の実施 「赤ちゃんと楽しむ絵本ひろば」の実施 「お母さんと赤ちゃんのための絵本ガイド」の配布</p> <p>推進方策 2 地域における子どもの読書活動の推進 1 市立図書館における子どもの読書活動の推進 「青空子どもとしゃかん」等の子どもを対象とした読み聞かせ事業の実施 「ひとはことしゃかん」等の読書への関心を高める体験型事業の実施 子どもの視点に立ったサービスの改善 まちづくりの拠点として、子どもや大人をつなぐ交流の場の創出 児童文学等に関する図書館文化セミナーの開催 ボランティアによる読み聞かせ等の実施 お話コーナーの活用 図書館を使った調べる学習コンクールの開催 読書感想文、読書感想画コンクールの開催と読書感想文集の発行 北洋大学図書館における子ども向けコーナーの活用</p> <p>2 児童センターにおける子どもの読書活動の推進 児童図書室の有効活用 中央図書館からの団体貸出しや「ぐるりさん」の活用 職員や地域のボランティアによる普段の活動や「とまペビータム」などのイベントでの読み聞かせ</p> <p>3 民間団体の活動に対する支援 読み聞かせ等に関わる活動団体への資料や情報提供 ボランティア活動グループへの活動の機会や場の提供 読み聞かせ活動や選書等に関する相談、助言</p> <p>4 子どもの読書活動に関する地域住民や保護者への普及・啓発 新着図書の情報発信や推薦図書の普及 「子ども読書の日」、「子ども読書週間」等における普及事業の実施 時季に応じた各種資料の展示 子育てサークルや幼稚園、保育園児の受け入れの促進と読み聞かせ体験 図書館情報誌の発行やホームページを利用した情報発信 「とまっこアプリ」を利用した情報発信 施設見学及び職場体験等の受入 図書館探検ツアーの実施</p>

第四次苦小牧市子どもの読書活動推進計画		社会教育委員評価と道の計画		第五次苦小牧市子どもの読書活動推進計画
<p>【基本目標 1】 推進方策 3 学校等における子どもの読書活動の推進</p> <p>1 読書習慣の確立と読書指導の充実</p> <p>「朝読書」等による一斉読書の推進 全校的な読書活動（読書週間・読書月間）の推進 読み聞かせ活動の推進 学校図書館等を活用した児童・生徒の主体的・意欲的な読書活動の推進 学校図書館等を活用した指導の充実 中央図書館の団体貸出し及び「スクールメール便ブックちゃん」の活用</p> <p>2 家庭・地域との連携による読書活動の推進 PTAや図書ボランティア等との連携と支援</p> <p>3 幼稚園や保育園等における読書活動の推進 読み聞かせなど本に親しむ活動の充実 中央図書館からの団体貸出しの活用 保護者による読み聞かせの推進 ボランティアによる読み聞かせの推進 中央図書館による研修や情報提供などの支援 移動図書館車の巡回による配本と貸出し体験の活用 ボランティアとの連携の強化</p> <p>4 優良な図書資料の普及・啓発 「子ども読書の日」、「子ども読書週間」等における啓発活動の推進 保護者に対する読書活動の必要性の喚起（幼稚園・保育園等、小・中学校）</p>		<p>1 読書習慣の確立と読書指導の充実（社） ・学校図書館の「しらべ学習」等の利用は、今後タブレットなどが主流になり、読書離れが加速することが考えられる。 ・子どもたちの読書に対する内発的な動機付けにつながる場が増えることを期待 ・スクールメール便ブックちゃんの学校のニーズに合わせた更新及び活用減の原因調査</p> <p>2 家庭・地域との連携による読書活動の推進（社） ・各学校の実情に合わせて持続可能な取り組み方を創意工夫していく時期を迎えている ・情報発信するなど、PTA やボランティアを繋ぎとめる方策を</p> <p>3 幼稚園や保育園等における読書活動の推進（社） ・園個々の取り組みにバラつきがある ・幼稚園・保育園における読書活動の推進が図られるよう具体的な取組が必要 ・情報発信するなど、PTA やボランティアを繋ぎとめる方策を ・ボランティアとの時間調整は難しいのではないかと。今の先生方の授業で十分ではないか</p> <p>4 優良な図書資料の普及・啓発（社） ・各学校の実情に合わせて持続可能な取り組み方を創意工夫していく時期を迎えている ・啓発活動や保護者に対する読書活動の必要性の喚起については具体的な取組を進める必要がある。</p> <p>社会教育委員から取組の強化を求められている項目</p>	<p>【基本目標 1】 推進方策 3 学校等における子どもの読書活動の推進</p> <p>1 読書習慣の確立と読書指導の充実</p> <p>「朝読書」等による一斉読書の推進 全校的な読書活動（読書週間・読書月間）の推進 読み聞かせ活動の推進 学校図書館等を活用した児童・生徒の主体的・意欲的な読書活動の推進 学校図書館等を活用した指導の充実 中央図書館の団体貸出し及び「スクールメール便ブックちゃん」の活用 セカンドブック事業「いちねんせいへ、こころのたからばこ」の実施</p> <p>2 家庭・地域との連携による読書活動の推進 PTAや図書ボランティア等との連携と支援</p> <p>3 幼稚園や保育園等における読書活動の推進 読み聞かせなど本に親しむ活動の充実 中央図書館からの団体貸出しの活用 保護者による読み聞かせの推進 ボランティアによる読み聞かせの推進 中央図書館による研修や情報提供などの支援 移動図書館車の巡回による配本と貸出し体験の活用 幼稚園や保育園、認定こども園等に向けたアウトリーチの実施</p> <p>4 優良な図書資料の普及・啓発 「子ども読書の日」、「子ども読書週間」等における啓発活動の推進 保護者に対する読書活動の必要性の喚起（幼稚園・保育園等、小・中学校） 市内小中学生の保護者宛一斉メール「さくら連絡網」の活用の検討</p>	
<p>推進方策 1-3 学校等における読書活動の推進<道> 乳幼児期は、絵本の読み聞かせなどとおして新たな世界に興味や関心を広げる時期であると言われており、幼稚園、保育所、認定こども園等では、乳幼児が様々な絵本や物語に触れる機会を積極的に増やすことが望まれるため、保護者やボランティア、司書等と連携・協力して読み聞かせをすることも考えられます。また、小学生・中学生・高校生期においては、学校図書館における多様な読書活動を工夫して、児童生徒が多くの語彙や多様な表現に触れ、新たな考え方に会おう読書の機会を充実するとともに、授業や様々な教育活動をおして学校図書館を計画的に利活用し、主体的・対話的で深い学びの実現や児童生徒の情報活用能力の育成を図ることが望まれます。 また、国の GIGA スクール構想では、これまでの教育実践と ICT 教育のベストミックスを図ることが求められており、児童生徒の 1 人 1 台端末の ICT 端末環境を活用した学校図書館の積極的な利活用を進めていく必要があります。</p>		<p>基本目標 2 推進方策 1-1</p> <p>項目の追加</p> <p>項目の変更 具体的な取組</p> <p>園からの声</p> <p>取組の強化</p> <p>まずは環境の整備 基本目標 2 推進方策 2-1</p>		

第四次計画と第五次計画の比較【基本目標2 子どもの読書活動を推進するための読書環境の整備】

第四次苦小牧市子どもの読書活動推進計画		社会教育委員評価と道の計画		第五次苦小牧市子どもの読書活動推進計画
<p>【基本目標2】 推進方策1 市立図書館の整備・充実</p> <p>1 市立図書館の機能の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> インターネットを活用した検索機能や予約の活用の促進 全道的な横断検索の利用促進 市内7か所の図書コーナーや移動図書館車によるサービスの提供 胆振東部1市4町の広域的な連携協力 図書館登録ボランティアによる本の修理の促進 「スクールメール便ブックちゃん」事業の推進 「ぐるりさん」事業の推進 <p>2 市立図書館の図書資料、設備等の整備・充実</p> <ul style="list-style-type: none"> 様々なニーズに対応した児童資料の充実 乳幼児コーナーの充実 分かりやすい館内表示と利用しやすい環境づくりの工夫 ヤングアダルト（中・高生）コーナーの充実 電子書籍の充実 交代勤務体制に対応した図書館司書の確保 <p>3 障がいのある子どもの読書環境の整備・充実</p> <ul style="list-style-type: none"> 障がい者にも利用しやすい環境の整備 障がい者に適した資料の充実 		<p>1 市立図書館の機能の充実（社）</p> <ul style="list-style-type: none"> 持続可能な取り組み方を創意工夫し、連携を大切に活動を進めていく時期を迎えている スクールメール便のニーズに合わせた更新が必要 <p>2 市立図書館の図書資料、設備等の整備・充実（社）</p> <ul style="list-style-type: none"> 今後も効果的な活動をPRしながら継続 様々なニーズに応じた取組が推進されている <p>3 障がいのある子どもの読書環境の整備・充実（社）</p> <ul style="list-style-type: none"> 重要な取組。さらに強化を 障害のある子どものニーズに応じた取組が推進されている <p>推進方策2-1 地域における読書環境の整備<道></p> <p>公立図書館においては、電子書籍の導入を進めることが望まれているとともに、将来的には、印刷資料と電子資料の両方を統合して利用できるハイブリッド図書館を目指すことを視野に入れ、電子図書館の導入を検討していく必要があります。また、視覚障害者等が利用しやすいメディアの充実と、円滑な利用のための支援を行い、読書バリアフリー化を進めることも必要です。さらには、中学生、高校生の要望を取り入れたコーナー等を設置したり、子どもが立ち寄りやすい環境を整えたりするなど、子どもの視点に立った整備が望まれます。</p>	<p>項目の修正</p> <p>取組の継続</p> <p>読書バリアフリー法もふまえ</p> <p>取組の継続</p>	<p>【基本目標2】 推進方策1 市立図書館の整備・充実</p> <p>1 市立図書館の機能の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> インターネットを活用した検索機能や予約の活用の促進 全道的な横断検索の利用促進 市内8か所の図書コーナーや移動図書館車によるサービスの提供 胆振東部1市4町の広域的な連携協力 図書館登録ボランティアによる本の修理の促進 ニーズに合わせた「スクールメール便ブックちゃん」事業の推進 「ぐるりさん」事業の推進 <p>2 市立図書館の図書資料、設備等の整備・充実</p> <ul style="list-style-type: none"> 様々なニーズに対応した児童資料の充実 乳幼児コーナーの充実 分かりやすい館内表示と利用しやすい環境づくりの工夫 ヤングアダルト（中・高生）コーナーの充実 電子書籍の充実 交代勤務体制に対応した図書館司書の確保 <p>3 障がいのある子どもの読書環境の整備・充実</p> <ul style="list-style-type: none"> 障がいのある子どもにも利用しやすい環境の整備 障がいのある子どもにも利用しやすい書籍の充実
<p>推進方策2 学校図書館の整備・充実</p> <p>1 学校図書館の図書資料・設備等の整備・充実</p> <ul style="list-style-type: none"> 国の「学校図書館図書整備5か年計画（第5次）」に基づく学校図書館資料の整備 学校司書の配置の拡充 余裕教室を活用した読書スペースの整備 コンピューターを活用した情報化の推進 <p>2 学校図書館の活用を図るための工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> 司書教諭の役割の理解及び教職員の協力体制の確立 学校司書研修会の開催 ボランティア等との連携の促進 		<p>1 学校図書館の図書資料・設備等の整備・充実（社）</p> <ul style="list-style-type: none"> 適切な廃棄も含めた蔵書数の整備 学校司書の中学校への配置 1人1台端末の利活用 学校のWi-Fi整備 <p>2 学校図書館の活用を図るための工夫（社）</p> <ul style="list-style-type: none"> 効果的な活動をPRしながら継続させていくことを期待 関係機関と情報共有を図ることが必要 学校司書研修会の再開 企画段階を含めたボランティアの参加促進 	<p>国の計画に基づく整備の促進</p> <p>取組の継続</p>	<p>推進方策2 学校図書館の整備・充実</p> <p>1 学校図書館の図書資料・設備等の整備・充実</p> <ul style="list-style-type: none"> 国の「学校図書館図書整備5か年計画（第5次）」に基づく学校図書館資料の整備 学校司書の配置の拡充 学校図書館への新聞複数紙の配置 余裕教室を活用した読書スペースの整備 学校図書館のICT化の整備 学校のWi-Fi環境の強化 <p>2 学校図書館の活用を図るための工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> 司書教諭の役割の理解及び教職員の協力体制の確立 学校司書研修会の開催 ボランティア等との連携の促進
		<p>推進方策2-2 学校等における読書環境の整備<道></p> <p>幼稚園、保育所、認定こども園等においては、絵本の蔵書数に格差があることが、国により指摘されています。そのため、保護者、ボランティア等と連携・協力して、図書の整備を図るとともに、公立図書館の団体貸出を利用するなどして、全ての乳幼児が多くの様々な本にアクセスできる読書環境を整備することが望まれます。</p> <p>学校図書館は、「読書センター」としての機能と、「学習センター」としての機能とともに、「情報センター」としての機能を有しています。また、児童生徒が一人で過ごしたり、年齢の異なる様々な人々との関わりを持つたりすることができる「心の居場所」としての機能も有しています。これらの機能を十分に発揮することができるよう、学校図書館図書標準に沿った資料や複数の新聞を備え、子どもが活用しやすい環境を整備するとともに、学校図書館等の整備を担う、学校司書の配置及び資質向上が求められます。また、1人1台端末の導入が進む中、端末と連携した学校図書館の積極的な利活用が図られるよう、学校図書館のICT化の環境整備を、地域の実情に応じて計画的に進めていく必要があります。</p>	<p>取組の継続</p>	

第四次苫小牧市子どもの読書活動推進計画		社会教育委員評価と道の計画		第五次苫小牧市子どもの読書活動推進計画
<p>【基本目標2】 推進方策3 子どもの読書活動の推進に係る体制の整備</p> <p>1 苫小牧市子ども読書活動推進連絡会議の開催 図書館協議会委員、子どもの読書活動推進に関する関係機関を加えた「苫小牧市子ども読書活動推進連絡会議」の開催</p> <p>2 図書館相互協力の推進 相互貸借の推進 学校図書館との連携・協力の促進 苫小牧市学校図書館教育研究部会との情報交換や交流の促進</p> <p>3 関係各職員の研修の充実 市教育研究所、苫小牧市学校図書館教育研究部会等が主催する教職員研修への参加奨励による教職員の指導力の向上 司書教諭の実技的な内容を取り入れた市教育研究所の研修講座の開設 学校図書館担当者研修会の実施 専門研修への派遣や職員研修の実施による研修の充実</p> <p>4 民間団体・関係機関との連携、協力 ボランティアグループやサークルなど民間団体との情報交流や意見交換 団体貸出しや資料の提供、職員が出向いての支援など、関係機関との連携・協力の促進 行政機関や各種団体と連携した取組の推進 学校図書館ボランティア研修会への協力</p>		<p>1 苫小牧市子ども読書活動推進連絡会議の開催（社） ・関係機関と情報共有を図ることが必要 ・Zoomを活用した会議の検討</p> <p>2 図書館相互協力の推進（社） 社会教育委員から取組の見直しを求められている項目</p> <p>3 関係各職員の推進（社） ・研修については推進計画にある以上、年間計画に入れるべきであるし、計画に入らないのであれば項目から削除することも検討 ・時代のニーズに合わせてどのような研修が必要なのかを検討し、実施する必要がある</p> <p>4 民間団体・関係機関との連携、協力（社） ・コロナ禍の影響も大きい中、評価も難しく継続が望ましい ・効果的な活動をPRしながら継続させていくことを期待する ・民間団体・関係機関との連携体制は十分構築されている ・子どもの図書館利用減・サービスの未浸透</p>	<p>取組の継続</p> <p>社会教育委員会議での御意見</p> <p>取組の見直し</p> <p>取組の継続</p> <p>アンケート結果などから</p>	<p>【基本目標2】 推進方策3 子どもの読書活動の推進に係る体制の整備</p> <p>1 苫小牧市子ども読書活動推進連絡会議の開催 図書館協議会委員、子どもの読書活動推進に関する関係機関を加えた「苫小牧市子ども読書活動推進連絡会議」の開催</p> <p>2 図書館相互協力の推進 相互貸借の推進 学校図書館との連携・協力の促進 北洋大学図書館との連携・協力の促進 苫小牧市学校図書館教育研究部会との情報交換や交流の促進</p> <p>3 関係各職員の研修の充実 記載削除 記載削除 学校図書館担当者研修会の実施 専門研修への派遣や職員研修の実施による研修の充実</p> <p>4 民間団体・関係機関との連携、協力 ボランティアグループやサークルなど民間団体との情報交流や意見交換 団体貸出しや資料の提供、職員が出向いての支援など、関係機関との連携・協力の促進 行政機関や各種団体と連携した取組の推進 学校図書館ボランティア研修会への協力 幼稚園や保育園等及び児童・生徒へ図書館活動のPR</p>